
AIMS-Gifu活用効果FD意見交換会 実施報告書

主催

教育推進・学生支援機構 学修支援部門

趣旨概要

平成26年度後期に実施したAIMS-Gifuの活用効果に関する学生向けアンケート調査結果に基づき、教員が期待する習熟度や時間外の能動的学修状況に対するAIMS-Gifuの具体的な活用効果に関する分析結果を紹介する。また、本アンケートに協力していただいた教員の取り組み事例などに関するパネルディスカッションを行い、効果的な能動的学修に繋がるAIMS-Gifuの具体的な活用方法について意見を交換する。

開催日時

2015年8月24日（月）13：00～15：00

開催場所

アカデミック・コア（図書館1階）

プログラム

- 13：00～ 開会挨拶 加藤 直樹（教育推進・学生支援機構副機構長／学修支援部門長）
- 13：05～ 趣旨説明／AIMS活用効果分析結果の紹介
篠田 成郎（学修支援部門副部門長／メディア教育担当）
- 13：30～ パネルディスカッション
パネリスト 中村 琢（教育学部助教）
渡邊 一矢（大学院教育学研究科修士課程2年）
高橋 由起子（医学部看護学科准教授）
大橋 愛（医学部看護学科2年）
八代田 真人（応用生物科学部准教授）
尾崎 智子（応用生物科学部生産環境科学課程4年）
- 14：50～ 閉会挨拶
- 15：00 閉会
全体司会進行 田中 雅宏（工学部准教授／教育推進・学生支援機構）

参加人数と内訳

所 属	教員	職員	学生	小計
教育学部	2 (1)	0	1 (1)	3 (2)
地域科学部	1	0	0	1
医学部	7 (1)	0	1 (1)	8 (2)
工学部	5	0	0	5
応用生物科学部	3 (1)	0	3 (1)	6 (2)
本部・センター等	3	7	0	10
合 計	21 (3)	7	5 (3)	33 (6)

() はパネリストの内数

趣旨説明／AIMS活用効果分析結果の紹介について

配付資料に従い、篠田副部門長より、次の2つについて説明された。

- 1) AIMS-Gifuを活用した教育効果向上方策に関する学修支援部門での取り組み概要
- 2) AIMS-Gifuによる学修効果を定量的に把握するために実施した授業時間学習に関する学生向けアンケートの分析結果

パネルディスカッションでの出された意見の概要

【アンケート分析結果全般について】

- 1) 必修・選択科目など受講学生によりアンケートの回答傾向が異なるのではないか。
- 2) 学生がアンケートの目的を深読みして、アンケート結果にバイアスがかかっているのではないか。



加藤直樹 学修支援部門長の挨拶



篠田成郎 学修支援部門副部門長による趣旨説明

【AIMSの活用全般について】

- 1) AIMSはe-Learningとは異なり、双方向コミュニケーションが可能である。
- 2) 学生の多くは、ログイン手続きを必要としないアプリケーションに慣れており、毎回ログイン手続きがAIMS使用のバリアになっていないか。
- 3) 能動的学習の観点から、ログイン手続きを行って自分から情報を取ることを意識させる必要があるのではないか。
- 4) 授業で使用する仮想の患者情報を、病院の個人情報と勘違いされないか危惧があり、大学外のシステムを利用することを利用したくない。
- 5) AIMSのチャット機能は、以前はあったが現在は無い。

【教員によるAIMS利用方法について】

- 1) 授業のリフレクションとして、AIMSを利用することが紹介された。
- 2) 教材、連絡事項、ビデオ、テスト、課題の各機能の利用事例が紹介された。
- 3) TwitterやLINEなど他のツールとの使い分けについて意見が出された。
- 4) 学生間の議論はLINEで行い、議論の結果をAIMSにアップロードし、議論の結果のみを残しておくことが提案された。
- 5) 授業時間外における学生間の議論の場として、blog機能の利用が紹介された。1年生前期の利用では、学生に使い方が定着せず、教員の意図通りには利用できなかったことが紹介された。
- 6) 授業前に資料をAIMSにアップロードしても資料を準備せずに授業に出席する学生や、授業前に課題を提示しても課題を行わずに授業に出席する学生が多いとの意見があった。



パネリスト／中村琢先生・渡邊 一矢さん



パネリスト／高橋由起子先生・大塚愛さん



パネリスト／八代田真人先生・尾崎智子さん



フロアーからの意見

【学生によるAIMS利用方法について】

- 1) 小テストの有無によりAIMSの利用回数が異なる。小テストがある場合には、資料を見る回数が増える。
- 2) 掲示板は、他人の意見を読めることはよいが、自分の意見を読まれることは恥ずかしく積極的な書き込みができない。
- 3) 具体的な課題を議論する場としてなら、掲示板機能が利用されるのではないかとの意見があった。
- 4) 授業内容に関する学生からの質問を先生からの回答を掲示板に掲載する授業において、自分が質問をした事項に関しては掲示板の回答を見るが、その他の質問・回答はあまり見ない。

【興味・学習意欲の向上方策について】

- 1) 授業前に動画を見ることで、疑問を持って授業を受けられる。疑問を持つことで興味を持てるとの意見があった。
- 2) 資料は文字ばかりより図を中心とする方が興味を持てるのではないか。
- 3) AIMSには、興味や学習意欲を持たせるような機能はないのではないかとの意見があった。
- 4) 「やらされている」感じがあり、興味・学習意欲に繋がらない。

【学習効率・理解度の向上方策について】

- 1) 小テストの実施は、学習効率・理解度につながる。また、解答や解説があるとよりよい。
- 2) コンピュータ実習の授業で、授業後すぐに課題が出された。授業後すぐに復習ができたことで学習効率が上がった。
- 3) 実習方法などを動画で繰り返し見ることができることで、学習効率が上がったと。
- 4) 授業前に授業内容や課題を提示することが、興味に繋がるのではないか。

【能動的学習を促す方策について】

- 1) 授業に関連する書籍や展覧会を紹介しても、実施に行動を起こす学生はほとんどいない。どのようにすると、学生は行動を起こすか問題提起された。
- 2) 興味を持てれば行動を起こすだろうから、興味を持たせることが重要である。



パネルディスカッションの様子



会場全体の様子

- 3) 調べているうちに興味を持つことがあったので、興味を持たせるためには強制も必要ではないか。
- 4) ゼミで本を読み出したら次を知りたくなり、自分で学習を始めた。
- 5) 書籍を読んだ上でのレポートを課す案が紹介された。
- 6) 能動的学習は必ずしも自分がやりたいから学習することではないのではないか。きっかけとして強制的な場合もある。
- 7) 反転授業として、資料を読んで授業に出席することを課し、授業ではグループディスカッションを行った。資料を読んできた学生が中心にディスカッションが行われ、資料を読まずに授業に出席している学生は聞いているだけのようであった。
- 8) インターネットで調べて終わり、書籍で調べることが少なくなっている。書籍で調べる必要を理解していないのではないか。
- 9) 単位を取得したいだけの学生は、受動的であり行動を起こさない。

まとめ

授業時間学習において、AIMSの活用は学習効率や理解度の向上において有効となるものの、興味や学習意欲の向上にはAIMSを上手に利用するというよりも、教員による学習者への動機付けが重要となるケースが多くなることがわかった。しかし、AIMSを通じてこうした動機付けに有効な教材配布を配付するなど、紙媒体に限らず、音声や動画などの様々な媒体を資料として提供出来る点において、AIMSの有効性が示唆された。能動的学修については、興味や学習意欲を持つきっかけを作ることが大切であり、最初に資料や課題をAIMSなどを通じて提供することは有効な方策になる可能性がある。以上の議論を通じて、AIMSはあくまでツール（道具）であり、これを上手に使う方法を教員間で共有するとともに、その意図を学生に示していくことの重要性が参加者全員で共有された。このため、今後、学修支援部門を中心として、AIMS利用方法の工夫やアイデアを全学的に紹介する取り組みに発展させていく必要がある。

FD意見交換会終了後の感想記入用紙により寄せられた意見

身分	意見等
教員	<p>AIMSの具体的な使用法を聞いた事が非常に参考になりました。</p> <p>AIMSを用いた新たな授業設計を実践してみたいと思いました。</p> <p>改めてAIMSについて考えるよい機会になりました。使用方法を再度勉強したいと思います。</p>
教員	<p>AIMS活用を中心に、現代学生にいかにか能動的な学習を進めるか考える機会になりました。</p> <p>AIMS活用が効果的な面と、そうではない面があると思います。</p> <p>1年生でパソコンを使い慣れていない学生だとAIMSの使用が難しい面もありました。</p> <p>看護技術のデモを動画配信していますが、タスク学習には有効と思いますが、根拠を考える習慣にはならない状況です。</p>
教員	<p>色々な意見が聞けて勉強になりました。</p> <p>すべてをAIMSでとは思っていません。1つのツールとして活用したいと思います。</p>
教員	<p>いくつか新たな使い方を聞くことが出来た。更に利用推進にも考えを巡らせた。</p>
教員	<p>A I M Sを十分に使いこなしていないので参考になった。</p> <p>回答（答え）があるものに対しては効率的で良いと思うが、皆でどう考えるかというテーマに関してはA I M S上でグループ間でやり取りすることも少ない授業時間の中で有効かもしれないが、今の学生は対面して学生間で自分の意見を述べるのが苦手な傾向がある。</p> <p>A I M Sでやり取りすることがきっかけで発言できるようになるのか、増々対面では発言出来なくなるのか、課題だと思います。</p>
教員	<p>具体的なA I M S活用について学べました。今後活用していきたいと思えます。</p>
教員	<p>「能動的学修」ということとAIMSの相性は、結局無いということかなという印象を持ちました。</p> <p>作業や学習能力を上げるのならそれはそれでいいと思う。</p> <p>私はAIMSは学生を強制的に学ばせるツールとしか見てない。</p>
教員	<p>A I M Sの色々な利用方法についてとても参考になった。</p> <p>学生さん（特に他学部の学生）の意見も聞いたので大変良かった。</p> <p>B l o gを使ってみたいと思った。</p> <p>他学部のF D会を公開→他学部のスタッフでも参加できるようにしていただければ。</p> <p>例）中村先生（教育学部）の「反転授業」に参加したいです。</p>

身分	意見等
教員	<p>他学部でのAIMSの活用例について参考になりました。</p> <p>ただAIMSそのものよりも、教育の方法など全般など全般について議論する必要があるかと思います。</p>
教員	<p>初めてAIMS関係の集まりに参加させて頂きました。</p> <p>私自身は現在のところあまり積極的に使用していません。どちらかという普段は動物病院の業務あるいは臨床実習で極めて忙しい為、何とか効率の良い授業ができないだろうかと思ったことがきっかけです。</p> <p>今回参加させて頂いて感じた点としては、AIMSありきでこれをどう使うかという話がほとんどのようでした。集まりのテーマがそのことを考えたものですので当然だとは思いますが。</p> <p>しかし本来は授業でこういう事がやりたいがそのためにはAIMSをどうしたら良いのかという話題もあると良かったと思います。</p>
教員	<p>学生の意見を聞くことが出来大変意味ある会でした。</p> <p>学修に対する記憶再生の価値観が思考理解へ移行することの重要性が問題か。</p> <p>今回の取り組み、成果が学内外に広げられることを期待しています。お疲れ様でした。</p>
教員	<p>よほどのコンテンツでもない限り、興味をAIMSで持たせるのは難しいと感じた。</p> <p>何かやはりAIMSのチャンネルの細かさをカバーするようなコンテンツや、リアルでのサポートなどをしないと、常時AIMSアクセスによる学習サポートは難しい。</p>
学生	<p>本日は、意見交換会に参加させていただきありがとうございました。</p> <p>本日の話し合いの中で、AIMSの機能の活用についてより深く理解できたとともに、やはり各教員の方々々がどのように授業を行い、それにどのような形でAIMSを使っていくかが課題になってくるのだなと思いました。</p>
学生	<p>AIMS-Gifuの活用について、自分の科以外のことについても具体的に聞くことが出来、とても有意義な場であったと思います。</p> <p>学生に主体的となって考えさせることは、とても難しいと思いました。</p>
学生	<p>いろんな意見が聞けて良かった。</p> <p>大切なのは興味だと思った。興味のあることならAIMSを使います。</p>
事務	<p>能動的学習を学生に徹底させる現場の困難さを理解しました。</p> <p>学生が社会で生き抜く為には、その重要性を気付かせる努力が先ず必要と思いました。</p> <p>学生に大学による成果をどう全体として評価するのか、目的の明確さとその手段に対する一貫性・信念が求められると思いました。</p>